

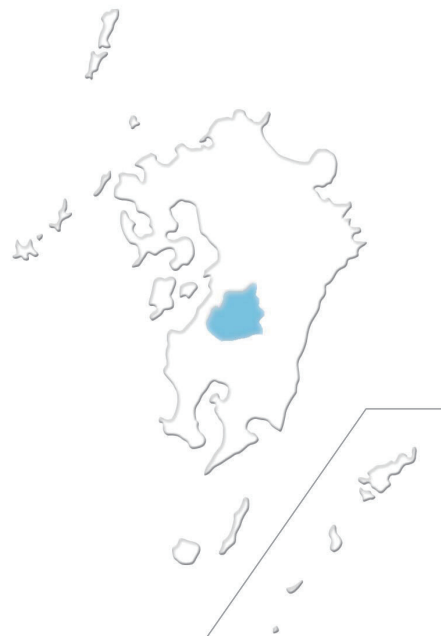


環境にやさしい企業活動を目指して



2011

人吉電力所
環境アクションレポート



九州電力

ずっと先まで、明るくしたい。

ごあいさつ

本年3月11日に発生した東日本大震災により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆さま、そのご家族の方々に、心からお見舞いを申し上げます。

人吉電力所は、熊本県南東部の人吉市と球磨郡及び八代市の一部にある水力発電所、変電所及び送電線路の保守及び維持、管理を主業務として、お客さまに良質で安定した電気をお届けしている事業所です。

また、当電力所は環境にやさしい事業運営を目指し、2001年3月に環境管理システムの国際規格であるISO14001の認証を取得し、全社員が環境活動に積極的に取り組んでいます。

具体的には、「私たちは 未来へつなぐ 環境活動を推進します」というビジョンのもと、低炭素社会の実現に向けた環境方針の5本柱を定め、これに基づき環境マネジメントシステムを確実に運用するとともに、社員一人ひとりが日常生活においても環境に配慮した行動を実践しています。

今回も、当社「九州電力の思い」の実現に向けて、「人吉電力所環境アクションレポート」を発行し、これらを通じた皆さまとのコミュニケーションにより、環境への取組みを更に充実させていきたいと考えております。

2011年6月

人吉電力所長 萩原 岩夫



EMS事務局メンバー

九州電力の思い

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九州電力の思いです。

————— この思いの実現に向けて、私たちは次の4つに挑戦しつづけます。 —————

- 1 地球にやさしいエネルギーをいつまでも、しっかりと
- 2 「なるほど」と実感していただくために
- 3 九州とともに。そしてアジア、世界へ
- 4 語り合う中から、答えを見出し、行動を

第1章／電力所と環境との関わり …… 2

第2章／人吉電力所の概要 …… 4

1. 組織と業務
2. 管轄範囲
3. 管轄設備と運用実績
4. 人吉電力所環境方針

第3章／環境活動のしくみ …… 6

1. 環境マネジメントシステム …… 6
 - (1) EMS導入とISO14001認証取得
 - (2) 運用体制
 - (3) 内部環境監査
 - (4) 教育・訓練
 - (5) 外部環境審査
2. 環境目的・目標の計画と実績 …… 8
 - (1) 2010年度の実績と評価
 - (2) 2011年度の計画

第4章／環境活動への取組み …… 10

1. 環境汚染を予防する設備形成の推進 …… 10
2. 電力所オフィスにおける3Rの推進 …… 12
 - (1) 一般廃棄物の3R
 - (2) 産業廃棄物の適正処理
 - (3) グリーン調達の推進
3. 地域貢献 …… 13
 - (1) 地域清掃活動への積極的参加
 - (2) 小学校における環境活動講師の実施
 - (3) 稚魚放流の実施
 - (4) 不法投棄防止への取組み
 - (5) 植樹活動への参加
4. 環境活動意識の高揚 …… 15
 - (1) 意識高揚標識の設置
 - (2) 環境活動情報誌の掲示
 - (3) 環境方針カードの配布
 - (4) 環境行動に関する資格の取得
5. 人吉電力所EMSの経緯 …… 16

表紙の写真について



■きじ馬と花手箱

800年以上前、平家の落人が球磨地方に逃れ、人吉の奥地に居を定めたとされています。平家の落人たちは、過ぎし都の暮らしを懐かしみ、きじ馬、花手箱、羽子板などの美しい木工品を作りはじめたと伝えられています。



■国宝青井阿蘇神社

江戸時代はじめの慶長15年(1610年)から18年(1613年)の4か年にわたり造営されたものです。本殿ははじめ一連の御社殿がすべて同時期のものであるということは全国的にみても大変貴重なもので、平成20年6月9日に九州内では55年ぶり、県内では初となる国宝に指定されました。(国宝青井阿蘇神社HPより)

第1章／電力所と環境との関わり

山間部にある水力発電所で発電された電気は、輸送ロスが少ない高い電圧で送電線を経由してお客さまの近くの変電所まで送られます。変電所に届いた電気は低い電圧に下げられ、配電線でお客さまへ届けられます。

電力所は、当社電気設備のうち、水力・変電・送電設備を管理する事業所であり、事業活動における電力所と環境との関わりを図示すると以下ようになります。

ダム・水路

【廃棄物発生】

水力発電所の取水堰などに河川の流木などが堆積します。

----- P11「流木の有効活用」へ



水力発電所

【省資源】

水力発電は、水の力で電気をつくる貴重な純国産エネルギーであり、発電時CO₂が発生しないなど環境面で優れた発電方式です。

----- P10「国産エネルギーの有効活用」へ

【河川汚染リスク】

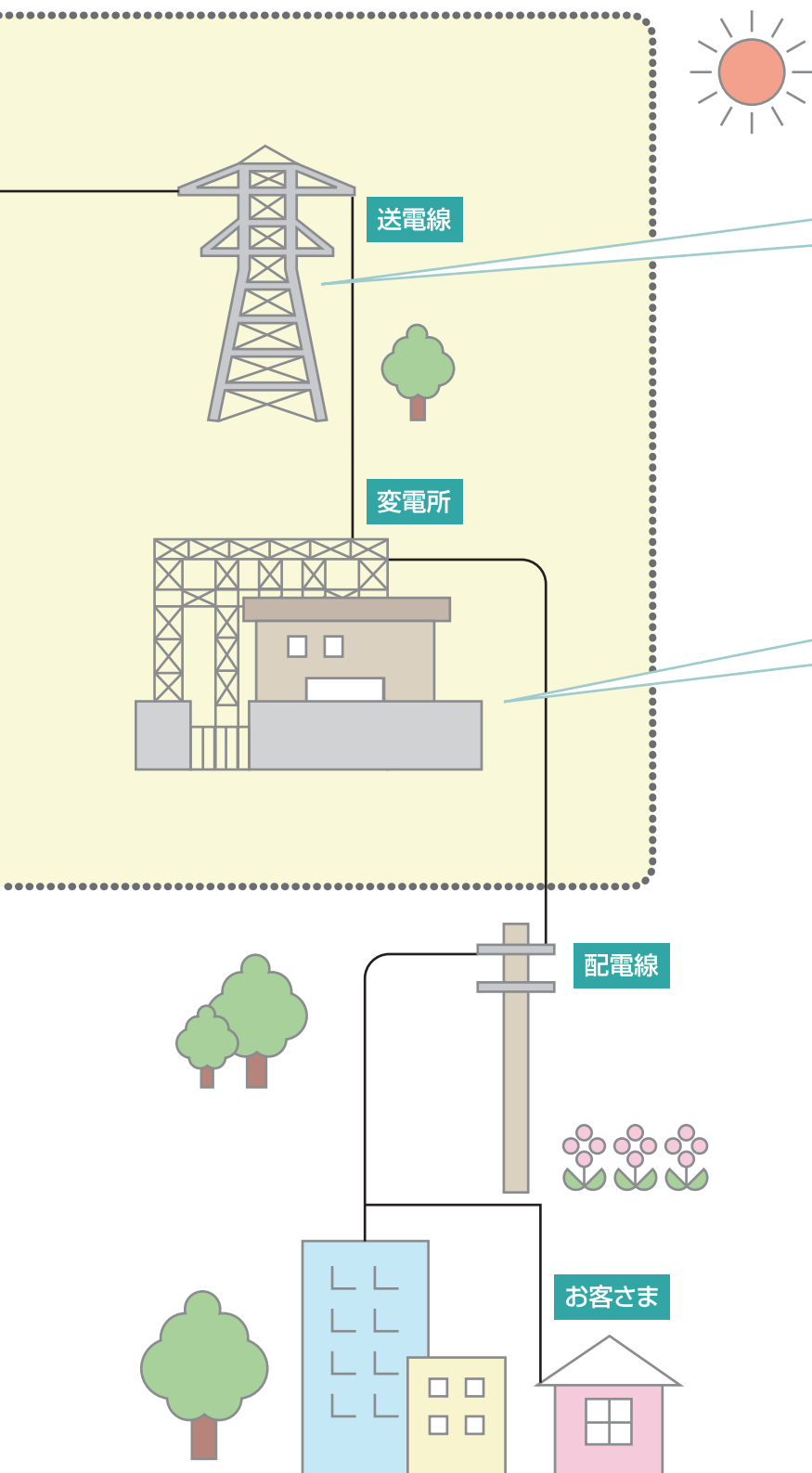
水力発電所の油圧機器の油が河川に流出する恐れがあります。

----- P10「水力発電所油レス化の推進」へ



電力所管轄範囲





送電線

【景観変化】

山間部の鉄塔建設には森林の一部伐採を伴います。

..... P11「送電鉄塔の環境調和」へ



変電所

【大気汚染リスク】

変圧器の防音材などには、健康障害を引き起こす恐れのある石綿が含まれているものがあります。

..... P11「石綿除去の推進」へ

ガス絶縁開閉器の内部には、地球温暖化に影響があるSF₆ガスが使用されています。

..... P11「温室効果ガスの回収徹底」へ

その他(事務所内活動)

..... P8・12・13 へ

【エネルギー消費】

・事務所内の活動で電力を消費します。

【資源消費】

・事務所内の活動で紙を消費します。

【廃棄物発生】

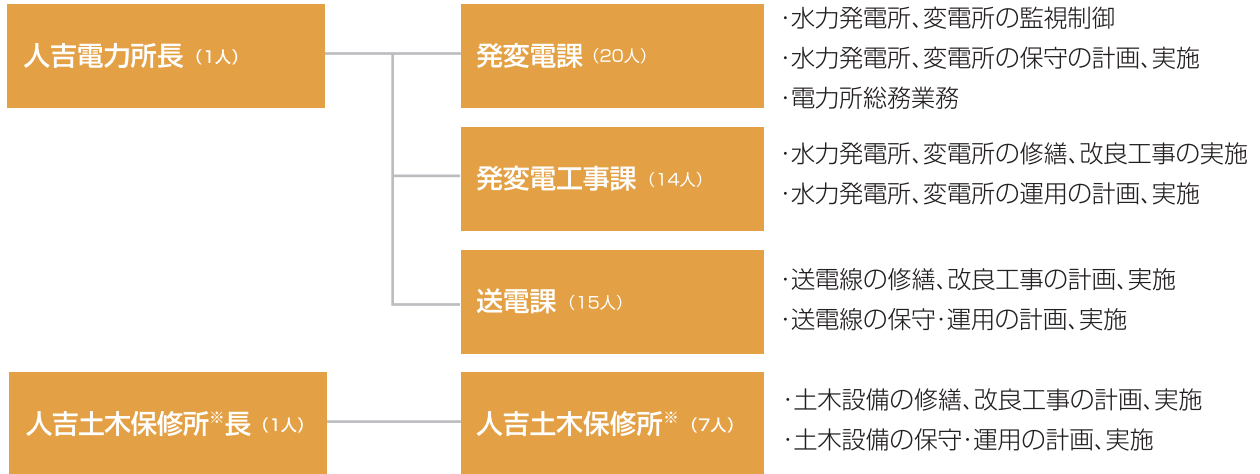
・事務所内の活動でゴミが発生します。

第2章／人吉電力所の概要

人吉電力所は、熊本県南部、人吉市周辺の水力・変電・送電設備を管理しており、同地域の土木設備を管理する人吉土木保修所とともに環境活動に取り組んでいます。

1. 組織と業務

人吉電力所及び人吉土木保修所の組織と業務は以下のとおりです。

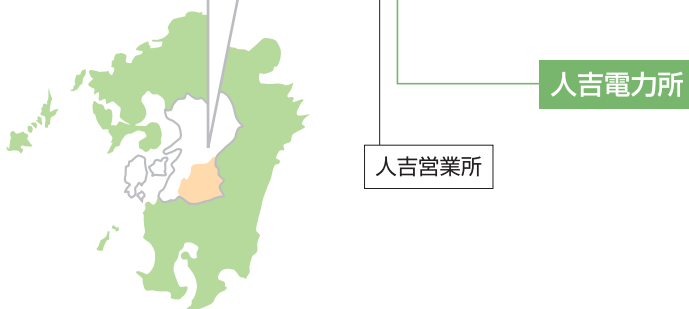


2011年4月1日現在

※：旧人吉電力所土木課。2005年7月に組織改正し、別組織となったが、人吉電力所のEMS活動を継続して実施している。

2. 管轄範囲

人吉市、球磨郡（錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、五木村、相良村、山江村、球磨村）及び八代市の一部（泉町）



3. 管轄設備と運用実績

人吉電力所			
水力発電所	9 か所	出力合計	60,860kW
変電所	3 か所	容量合計	665,000kVA
送電線	路線こう長		306km

2011年3月31日現在

発電実績	139,065MWh
需要実績	538,077MWh

2010年度実績

4. 人吉電力所環境方針

人吉電力所は、以下のような考え方に基づいて環境保全活動に取り組んでいます。

九州電力 グループ 環境憲章

～環境にやさしい企業活動を目指して～

九州電力グループは、持続可能な社会の実現を目指して、グローバルな視点で地球環境の保全と地域環境との共生に向けた取組みを展開します。

- 1 地球環境問題への適切な対応と資源の有効活用に努め、未来につなげる事業活動を展開します。
- 2 社会と協調し、豊かな地域環境の実現を目指した環境活動に取り組めます。
- 3 環境保全意識の高揚を図り、お客さまから信頼される企業グループを目指します。
- 4 環境情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを推進します。

2008年4月制定

人吉電力所環境方針

基本理念

九州電力は

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。

という「九州電力の思い」のもと、これからの時代の変化の中でも変わることなく電力・エネルギーを安定してお届けすること、そしてお客さまの快適で環境にやさしい毎日へ貢献することを約束しています。

人吉電力所は水力発電所、変電所、送電線路を保守、維持、管理し、電力を安定供給することを使命とする事業所であり、「電気にもごころを 環境にやさしさを 職場に笑顔を」の行動方針のもと、地域住民の一員として所員自らができる活動から環境マネジメントシステムに取り組めます。

基本方針

- 1 事業活動全般を通じ、省資源、廃棄物の削減・再資源化及び汚染の予防に取り組み、循環型社会形成と健全な環境の維持・向上に努めます。
- 2 設備の適切な運用・管理および確実な機能維持による電力供給の安定確保を通じ、お客さまに生ずる環境負荷の増加を抑制します。
- 3 周辺の地域環境に配慮し、環境の維持・向上のため、地域への貢献及び地域と一体になった活動を積極的に行います。
- 4 環境方針に沿った行動のための従業員教育および環境活動に関する意識や知識の向上を図る取り組みを行います。
- 5 環境関連の法規制及びその他の要求事項を遵守します。
- 6 具体的な環境活動の目的・目標を設定し、その実現に努めるとともに、定期的なレビューにより環境マネジメントシステムの継続的改善を推進します。

2011年4月1日

九州電力株式会社 熊本支店
送変電統括部 人吉電力所長

第3章／環境活動のしくみ

人吉電力所は、長期的視点に立ち、継続的に環境負荷の低減に取り組むため、以下のような仕組みを構築し、環境保全活動に取り組んでいます。

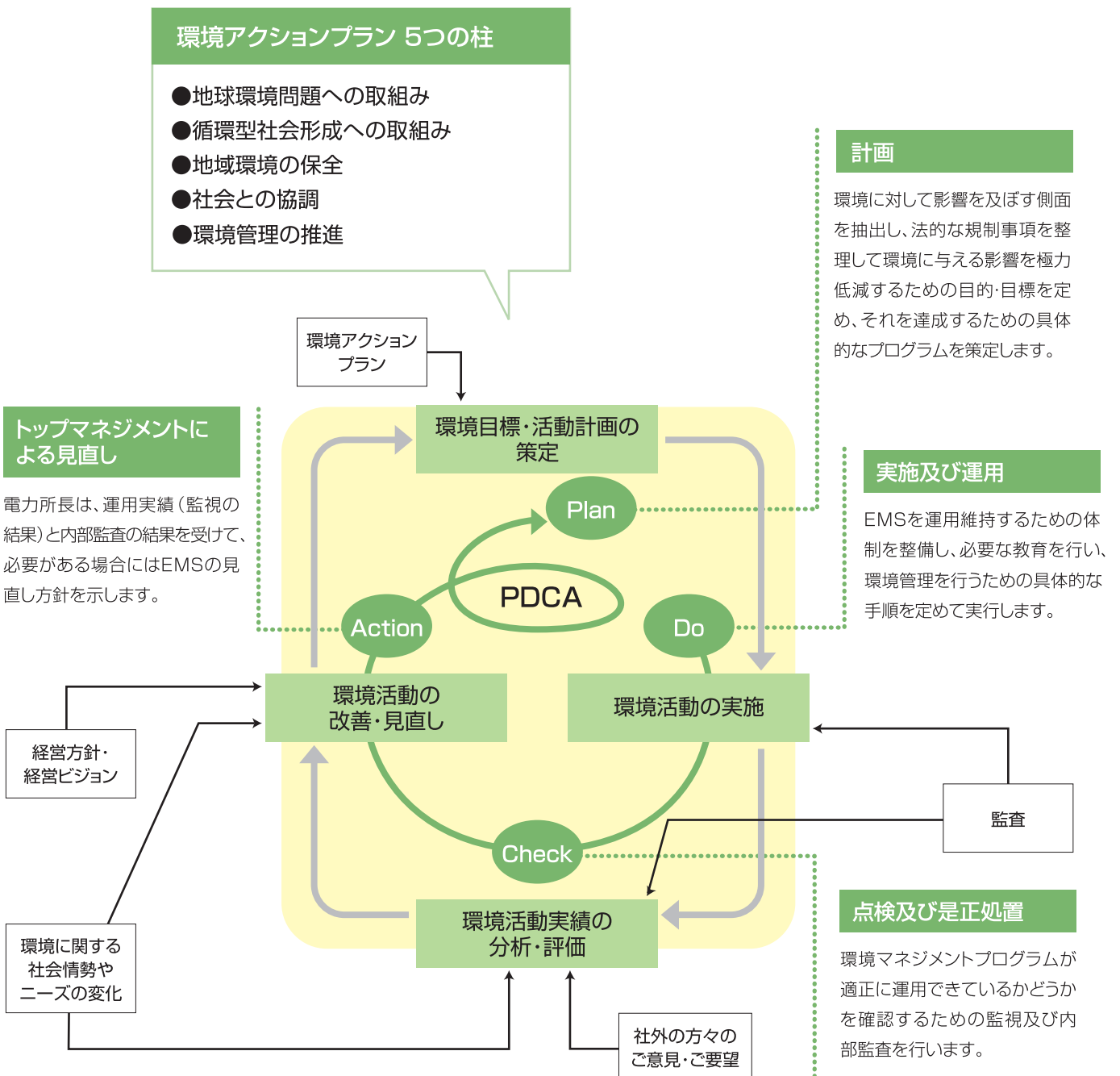
1. 環境マネジメントシステム

(1) EMS導入とISO14001認証取得

人吉電力所では、所員及び関係者の環境保全に対する意識の高揚、並びに環境負荷低減のための継続的改善による環境管理レベルの向上などを目的として、環境マネジメントシステム(EMS)を導入しています。

EMSは、電力所の環境保全に関する基本姿勢を示した環境方針に基づき、以下に示すPDCAサイクルを繰り返すことで、環境負荷の継続的な低減を図るシステムです。

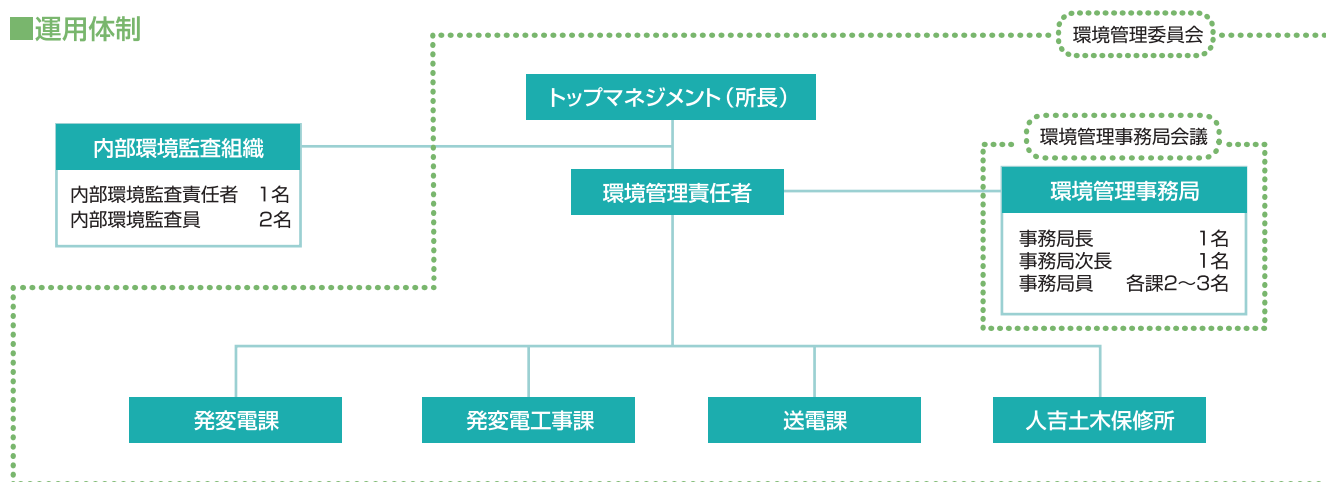
このシステムを2000年9月に導入し、翌年3月に国際規格であるISO14001の認証を取得しています。



(2) 運用体制

人吉電力所員及び人吉土木保修所員が協力して環境マネジメントプログラムに定められた役割分担に従い、環境管理に取り組んでいます。

■ 運用体制



(3) 内部環境監査

電力所長が任命した「監査責任者」を中心とした「内部環境監査組織」が、環境監査を年1回実施しています。ここでは、人吉電力所における環境管理がISO14001規格の要求事項に適合し、適切に実行・維持されているかを確認しています。

(4) 教育・訓練

環境マネジメントシステムに関する教育や、各所員に応じた各種の教育・訓練を定期的に行っています。

また、緊急事態を想定し、大規模非常災害復旧訓練、油流出事故復旧訓練及び消防訓練などを定期的に行っています。

なお、当電力所員が保有する環境関連の資格は右表のとおりです。(土木保修所含む)

当電力所員の環境関連資格の保有状況

資格名	資格者数(人)
防火管理者	2
衛生管理者	16
特別管理産業廃棄物管理責任者	3
危険物取扱責任者	27
内部環境監査員	8

2011年4月1日現在

(5) 外部環境審査

2001年3月の認証取得以降、毎年、第三者の審査機関からEMSが適切に運用され、維持されていることを定期審査により確認を受けています。さらに、認証の有効期間が3年であることから3年毎に更新審査を継続受審しています。

外部審査機関による受審状況

年度	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
認証取得	○										
更新審査				○			○			○	
定期審査		○	○		○	○		○	○		○

2. 環境目的・目標の計画と実績

(1) 2010年度の実績と評価

環境管理活動上、電力所が重点的に取り組むべき課題として、目的・目標を定め環境活動に取り組んでいます。

2010年度EMS目標の取組結果

項目	計 画		結果	備考
	目標値	実施方法		
供給支障につながる懸案の確実な解消	今年度計画の懸案解消 (183件)	<ul style="list-style-type: none"> ・懸案事項解消のための作業計画作成 ・計画懸案の確実な解消 ・新規発生懸案の対策時期検討 ・緊急対応を要す新規設備懸案の迅速な処理 ・環境負荷の低減の確実な推進 (石綿削減、油レス化推進等) 	213.1% (390件)	目標達成
設備の巡視・点検の確実な実施による予防保全	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度計画の設備巡視・点検の実施 ・突発事故発生時の確実な巡視・点検の実施 (956件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視点検計画の確実な実施 ・巡視点検で発見した不具合の的確な管理 ・巡視点検スキルアップ教育の実施 ・他所での事故事例による同様機器の調査点検の実施 ・設備の定期点検の確実な実施 	104.1% (995件)	目標達成
運用設備あるいは工事施工における騒音値の管理及び影響防止対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全発電所における騒音測定 (12回/年) ・工事施工時の騒音対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・確実な騒音測定に向けた作業計画作成 ・騒音測定の確実な実施 ・測定結果に対する評価及び必要に応じ対策の検討 ・工事施工時の低騒音機器・騒音低減シートの確実な使用 	騒音測定100% (12回) 騒音対策都度実施 (苦情等なし)	目標達成
地球環境問題への確実な取組みの実施	電力所建屋への太陽光発電設備の設置 (9月運開)	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備設置の工程管理 ・設置後の運用状態の管理 ・低炭素社会づくりに向けた取組みに関する知識の理解・修得 	計画どおり運開 (継続管理中)	目標達成
環境維持や電力の安定供給に資するための資格取得	1件/人の各種資格取得の実施 (各種講習・通信教育の受講) (58件)	<ul style="list-style-type: none"> ・資格試験の実施予定等の情報提供 ・システム登録対象以外についても取得状況の把握を行う 	103.4% (60件)	目標達成

なお、活動が定着したものについては、「維持運用活動」として継続して取り組むこととしています。

(2) 2011年度の計画

2011年度の計画は以下のとおりとしました。

2011年度EMS目標

計 画			備考
項目	目標値	実施方法	
事務所内受電 電力量の削減	H22年度の実績から 3%削減 (536,080kWh)	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯 ・冷暖房の温度設定(冷房28℃、暖房19℃) ・空調運転停止時間の管理 ・不使用OA機器の電源断の実施 ・省エネ標識類の設置 ・執務室他不要蛍光灯の間引き ・時間外の適正実施、管理 ・自動点灯スイッチの導入拡大 ・空調効率UP対策の実施 ・夜間照明(水銀灯)の点灯時間見直し 	新規 (従来活動を見直し)
コピー用紙の購入量の 削減	H22年度の実績から 1%削減 (1,352kg)	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化 ・紙での出力が必要なものは裏面の利用 ・複数枚の印刷は両面コピーの利用 	新規 (従来活動を見直し)
供給支障につながる 懸案の確実な解消	計画懸案の100%解消 (145件)	<ul style="list-style-type: none"> ・懸案事項解消のための作業計画作成 ・計画懸案の確実な解消 ・新規発生懸案の対策時期検討 ・緊急対応を要す新規設備懸案の迅速な処理 ・環境負荷の低減の着実な推進 	継続
設備の巡視・点検の 的確な実施による 予防保全	年度計画に基づく 設備巡視・点検の 100%実施 (761件)	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視点検計画の確実な実施 ・巡視点検で発見した不具合の的確な管理 ・巡視点検スキルアップ教育の実施 ・他所での事故事例における同様機器の調査点検の実施 	継続
環境維持や電力の 安定供給に関する 資格取得等へのチャレンジ	一人1件の 資格取得等へのチャレンジ (58件)	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験等への積極的なチャレンジ ・社内の選択型研修の受講 ・各種の通信教育の積極的な受講 	継続

第4章／環境活動への取組み

人吉電力所における具体的な環境保全活動についてご紹介します。

1. 環境汚染を予防する設備形成の推進

お客さまへお届けする電気は、発電所、送電線、変電所、配電線といった様々な設備を経由しており、当社はそれぞれの設備に対応した環境配慮への取組みを行っています。ここでは、人吉電力所で行っている活動の一例をご紹介します。

水力発電所油レス化の推進

水力発電所からの油流出を抑制する観点から、水車起動・停止時など弁開閉操作を油圧から電動化することで保有油量を少なくし環境に負荷を与えるリスクの低減を図っています。2005年度には、2発電所を電動化し、圧油用の油を1,500ℓ低減しました。

また、2007年度には、1発電所の水車を潤滑油レス構造とし、潤滑油用の油を100ℓ低減しました。

さらに、水力発電所の潤滑油として油脂メーカが開発された「環境に優しい油（万が一河川へ流出しても自然界の微生物に分解されやすい油）」を2005年度から試験的に採用しています。



水車発電機

流木の有効活用

水力発電所の取水堰などに漂着した流木塵芥については、仮置き場を集積後、破砕機にて粉砕処理し田畑の堆肥として利用するなど有効に活用しています。

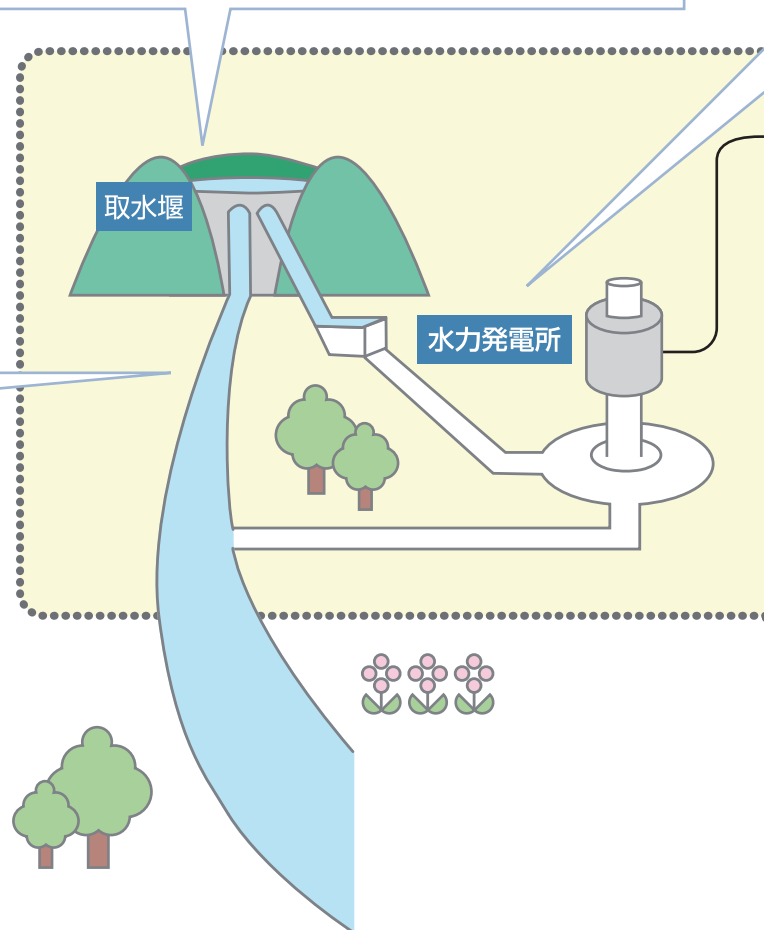
2010年度は278m³の流木塵芥を回収し、再利用しました。



流木塵芥の袋詰め



破砕機による粉砕



事故に備えた訓練の実施

水力発電所は河川に油が流出しない設備の構築を行っていますが、万が一油が流出した場合に備え、迅速・的確な対応により、被害を最小限に抑えることが出来るように年1回定期的な訓練を行っています。



オイルフェンス設置及び油回収



訓練状況

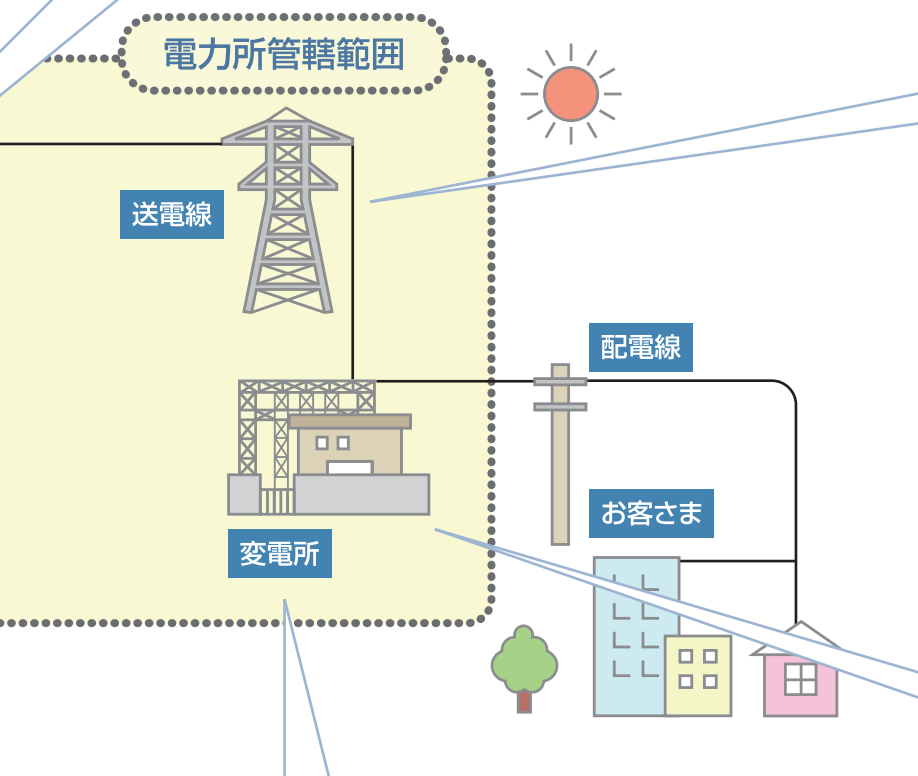
国産エネルギーの有効活用

水力発電は、発電時CO₂を排出しないクリーンなエネルギーであり、国産エネルギーの有効活用の観点から、水力発電所の水車・発電機など機器取替えの際には出力アップを指向しています。

2005年度には当電力所管内2発電所の出力を2,520kWアップしました。

・田迎発電所 2,200kW → 4,700kW ・大野発電所 60kW → 80kW

また、2010年度の人吉電力所管内水力発電所の発電電力量は139,065MWhで、これを化石燃料で発電した場合と比較すると約9.7万tのCO₂削減に相当します。



送電鉄塔の環境調和

送電鉄塔の鉄塔敷地面には種子を入れた植生マット及び植生土のうを設置し、これを根付かせることで風雨等による表層流出（地肌露出）を抑制するとともに緑化にも寄与しています。

2008年度には、山間部に新しく設置した5基の鉄塔基礎部を緑化しました。



鉄塔基礎部

温室効果ガスの回収徹底

ガス絶縁開閉器に使用している六フッ化硫黄 (SF₆) ガスは、機器点検の際、大気に放出しないよう専用の回収装置を使用して排出の抑制に努めています。当電力所の点検作業における2010年度の回収率は99.5%となりました。

また、空調装置の取替時には、オゾン層に影響のない代替フロンの使用機器への切替を順次行っています。

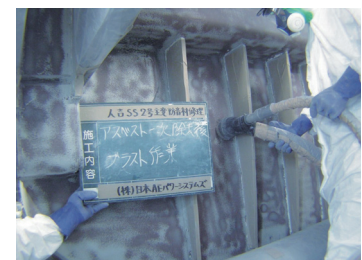


ガス絶縁開閉器

石綿除去の推進

変圧器表面の防音用吹付け石綿は、可能な限り飛散しない工法で除去し、健康障害リスクの軽減に努めています。

2006～2007年度には変圧器2台(16t)の石綿を除去しました。



石綿除去作業状況

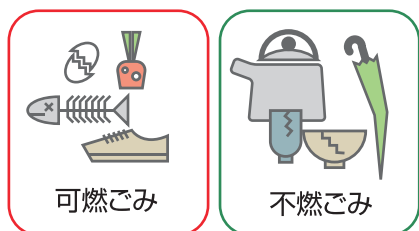
2. 電力所オフィスにおける3Rの推進

循環型社会の形成に向けて、廃棄物の最終処分量を限りなくゼロに近づける「ゼロエミッション」活動を展開しており、発生抑制 (Reduce:リデュース)、再使用 (Reuse:リユース)、再生利用 (Recycle:リサイクル) の3Rに取り組んでいます。

(1) 一般廃棄物の3R

電力所で発生する一般廃棄物には、古紙、ペットボトル、ビン、缶などがあり、人吉市の「資源ごみ」回収に協力するとともに、以下のような取り組みを行っています。

一般廃棄物の分類

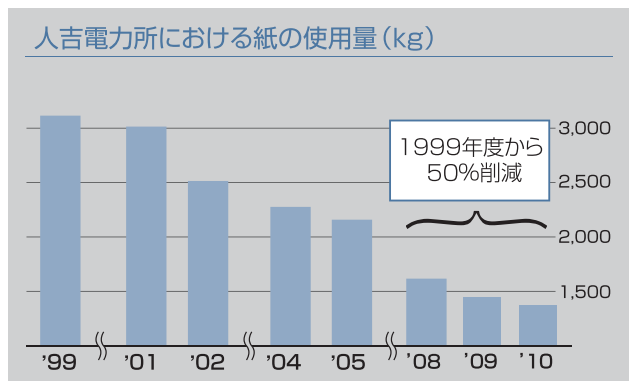


(人吉球磨クリーンプラザホームページより転載)

注) 当所から排出される使用済蛍光灯はグループ会社の(株)ジェイ・リライツですべてリサイクルされています。

■ リデュース、リユースへの取り組み

事務用紙については、電子承認システムの採用等による社内文書の電子化の推進及び印刷時の両面コピー、会議におけるプロジェクタの使用などにより、紙使用量を抑制するとともに、ミスコピー用紙の裏面利用などに努め、2008年度以降の事務用紙購入量は1999年度と比較して50%以上削減しました。



分別収集状況

■ リサイクルへの取り組み

2005年度から、割り箸リサイクルに取り組んでいます。回収した割り箸は、紙の原材料として再生利用されています。さらに2008年度からは、ペットボトルの蓋のリサイクルにも取り組んでいます。

また、生ごみについては、生ごみ処理機で堆肥化し構内緑化用の肥料として利用しています。



ペットボトル蓋・割り箸回収箱



生ごみ処理機設置状況

(2) 産業廃棄物の適正処理

工事で発生する産業廃棄物は、取引先の処理が適正に行われていることを産業廃棄物管理票(マニフェスト)で確認するとともに、再使用(リユース)・再生利用(リサイクル)の徹底により、可能な限り最終処分量を削減するよう取り組んでいます。

(3) グリーン調達の推進

事務用品、OA機器消耗品等の購入においては、環境に配慮した製品を購入する「グリーン調達」を推進しています。

オフィスで使用する物品は、環境にやさしいエコ製品(エコマーク商品等)を積極的に購入しています。(例:コピー用紙類、トイレトペーパー、文具類、パソコン他)

3. 地域貢献

地域の環境ボランティアにも積極的に取り組んでいます。

(1) 地域清掃活動への積極的参加

毎年、花火大会後に行われる人吉市主催の清掃ボランティアに参加しており、2010年度は計21名が参加しました。

(2) 小学校における環境活動講師の実施

当電力所の「不法投棄ゴミ回収活動」に関心を持たれた小学校からの依頼を受けて、2005年5月23日、人吉市立田野小学校の総合学習の時間に「環境問題と当社の環境活動」をテーマとして講義をさせていただきました。

以来、この小学校では、不法投棄防止の看板を、児童自らが製作・設置し、毎年当電力所と協力してプランタの設置、清掃活動を行うなど環境活動の輪が広がっています。



小学校での講義



プランタの設置と清掃活動に参加された皆さま

(3) 稚魚放流の実施

当社「環境月間」行事の一環として、当電力所では清流への稚魚放流などを行っています。2010年6月には五木村川辺川流域の五木東小学校の児童・教諭の皆さまとともにヤマメ稚魚8,000匹を放流しました。



ヤマメ放流

(4) 不法投棄防止への取組み

人吉電力所を含む人吉地区の九州電力グループ各社は、県（球磨地域振興局）と「廃棄物の不法投棄に関する協定」を締結しており、送電線の巡視時などに不法投棄と思われる状況を発見した場合は自治体へ情報提供を行っています。2008年度には不法投棄ゴミの回収活動を行うとともに、現場出向時に新たな不法投棄を1件発見し自治体への情報提供を行いました。



不法投棄状況

(様式第1号)

不法投棄発見報告書

通報者 所 属：九州電力株式会社
熊本支店 送電電統係 人吉電力所 送電課
氏 名：酒巻 互
連絡先：0966-24-8034

発見日時	平成 20年 7月 11日 (金 曜日) 10時 00分
定期性・継続性	<input type="checkbox"/> 定期的に不法投棄されている <input type="checkbox"/> () 頃から続いている <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
発見場所 (現場の状況)	市 町 球磨郡 五木村 板木 2515-3 番地付近 <input type="checkbox"/> 河川 <input checked="" type="checkbox"/> 山林 <input type="checkbox"/> 田 <input type="checkbox"/> 畑 <input type="checkbox"/> 雑種地 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (道路脇)
不法投棄等の内容	発見状況 <input checked="" type="checkbox"/> 不法投棄された廃棄物を見 <input type="checkbox"/> 廃棄物の不法投棄行為を目撃 <input type="checkbox"/> 不審車両を目撃 <input type="checkbox"/> 長期にわたる野積み状況の廃棄物を見 <input type="checkbox"/> 廃棄物の野外焼却 (野焼き) を発見 <input type="checkbox"/> その他 ()
	廃棄物の種類 (主なもの) <input type="checkbox"/> 家電製品 <input checked="" type="checkbox"/> 家具 <input checked="" type="checkbox"/> 古タイヤ <input checked="" type="checkbox"/> 廃自動車 <input type="checkbox"/> 引越ごみ <input type="checkbox"/> 家屋解体廃材 <input type="checkbox"/> コンクリート殻 <input type="checkbox"/> アスファルト殻 <input type="checkbox"/> 木くず <input type="checkbox"/> 廃石膏ボード <input type="checkbox"/> 不審なドラム缶 <input type="checkbox"/> その他 ()
	廃棄物の量 <input type="checkbox"/> 縦 m × 横 m × 高さ m <input type="checkbox"/> ダンプ 台相当 体積 <input type="checkbox"/> 5 m ³ <input type="checkbox"/> 5~10 m ³ <input type="checkbox"/> 10~20 m ³ <input type="checkbox"/> 20 m ³ 以上
車両番号	
不審車両	車両の特徴 <input type="checkbox"/> 軽トラック <input type="checkbox"/> 小型ダンプ <input type="checkbox"/> 大型ダンプ <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 色 () <input type="checkbox"/> その他 (会社名等)
	台数
行為者の特徴	<input type="checkbox"/> 投棄者判明 (年齢 歳位) 性別 (男 ・ 女) <input checked="" type="checkbox"/> 投棄者不明
周辺環境への影響	※ におい等
投棄場所を特定するための目印になるようなものまたは付近の路図等 ※別紙参照	

不法投棄発見報告書

(5) 植樹活動への参加

当社は、創立50周年を記念して、2001年度から10年間で100万本の植樹を地域の皆さまと一緒に挙げて行う「九州ふるさとの森づくり」を九州各地で展開してきました。

人吉電力所では、2004年～2005年に「草津川源流域の森づくり」及び「水上村植林活動」に参加するなど、積極的に植樹活動に取り組みました。

2011年度以降も、低炭素社会実現への寄与や生物多様性の保全を目的として、引き続き「九州ふるさとの森づくり」を展開することとしており、今後も積極的に植樹活動に取り組んでいきます。



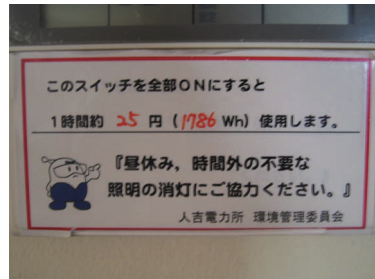
植樹活動

4. 環境活動意識の高揚

(1) 意識高揚標識の設置

所員がコスト意識を持って省エネなどの環境活動に取り組むように、意識高揚のための標識を照明・エアコンのスイッチなどに設置しています。

また、当電力所では環境にやさしい行動の一環として「樹木に優しい前向き駐車」にも取り組んでおり、お客さま用駐車場に呼びかけ看板を設置し、協力いただいています。



スイッチ部の標識



「前向き駐車」呼びかけ看板

(2) 環境活動情報誌の掲示

人吉電力所では、毎月の活動状況を「EMS活動情報誌」として作成し、目標達成状況、法改正などの周知と目標達成の動機付けのために所内掲示しています。また、環境活動の今後の予定などを掲示し、所員が環境活動に自主的・計画的に参加できるような仕組みを作っています。

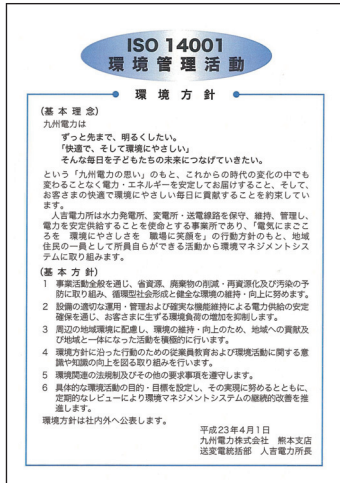


環境活動情報誌

活動予定表

(3) 環境方針カードの配布

環境方針を事務所に掲示するとともに、EMSに関する認識を促すため、活動内容を併記した環境活動カードを全所員が携帯することで、常に環境保全を意識するようにしています。



詳細はP5をご参照下さい。

(4) 環境行動に関する資格の取得

エネルギー管理士や公害防止管理者など、業務に直接関連のある資格取得の支援はもとより、環境社会検定 (eco検定) など、環境行動に関する資格取得についても支援しています。

eco検定は、環境問題に関する知識を深めるとともに、環境問題に主体的に取り組む人づくりを目指す資格であり、資格取得により職場での環境意識の高揚や環境活動の更なる拡大に寄与しています。



5. 人吉電力所EMSの経緯

1999年 9 月16日	「環境ISO14001取得推進委員会」発足
2000年 9 月 1日	環境マネジメントマニュアル制定・発行(各活動の開始)
2001年 2 月16日	本審査
2001年 3 月14日	認証取得
2002年 5 月30日	環境ISO活動による社長表彰受賞
2002年10月 1日	「環境管理基準」制定
2003年 2 月 6日	2年次サーベイランス(結果:向上)
2004年 3 月10日	更新審査合格
2004年 6 月23日	県と「廃棄物の不法投棄対策に関する協定書」を締結
2005年 2 月 4日	1年次サーベイランス(結果:向上)
2006年 3 月 2日	2年次サーベイランス(結果:向上)
2007年 1 月25日	社団法人「小さな親切」運動本部より「小さな親切」実行章を受章
2007年 3 月14日	更新審査合格
2008年 2 月19日	1年次サーベイランス(結果:向上)
2009年 2 月10日	2年次サーベイランス(結果:向上)
2010年 3 月14日	更新審査合格
2011年 2 月 8日	1年次サーベイランス(結果:向上)

当電力所は、環境管理システムの国際規格であるISO14001の認証を取得し、2011年3月で10年間の継続となりました。

これまでの継続的改善に対して、認証機関である「株式会社日本環境認証機構」より記念品を受領いたしました。





051



九州電力株式会社 人吉電力所
熊本県人吉市願成寺町1350番地1

登録証

登録番号：EC00J0262

ISO 14001:2004・JIS Q 14001:2004

電力供給事業活動及び所員、建物設備並びに
付帯設備に関連する環境保全活動

当機関は、上記組織が、当該マネジメントシステム
要求事項に適合していることを証します。

登録日 : 2001年 3月14日
更新日 : 2010年 3月14日
発行日 : 2010年 1月25日
有効期限 : 2013年 3月13日

株式会社 日本環境認証機構
東京都港区赤坂 2-2-19

代表取締役
社長

下井泰典

本証は登録証の一部ですので、付属書と合わせてご覧ください。



ずっと先まで、明るくしたい。



九州電力
環境活動シンボルマーク

このシンボルマークは、九州電力グループが取り組む4つの事業領域(環境にやさしいエネルギー事業、情報通信事業、環境・リサイクル事業及び生活サービス事業)を「4つ葉のクローバー」でデザインしたもので、クローバーの茎は、Energy、Ecologyなどの「e」を意味し、九州電力がグループ全体の事業活動を通じて環境活動を推進していく姿勢を表現しています。

本レポートについてのご意見・お問い合わせ先

九州電力 株式会社
熊本電力センター 人吉電力所
TEL(0966)22-2289